

* 胸部低線量 CT について

体内の断面像を得ることができるコンピュータ断層装置(CT)を使って検診を行います。検査時間は約5~10分程度です。胸部CTは、胸部レントゲンと比較して、より肺がん検出率が高いと報告されていますが、胸部単純X線と比較して放射線被ばくが増えるという難点があります。又、肺がん以外の疾患が発見されることもあります。

当院では、被ばくの問題を解決すべく、肺がんCT検診認定機構の推奨する低線量CTを採用しています。

低線量CTによる肺がん検診は、通常の胸部CTの2割程度の低い線量で検査をします。低線量とはいって、最先端のCT装置と被ばく低減技術を用い、がんの診断が可能な画質が担保されるよう、医師と診療放射線技師とで検討を行い、線量を決定し、診断は放射線科、呼吸器内科医師2名以上による二重読影を実施しています。